



令和 7 年 6 月 11 日

立川市議会

議長 福 島 正 美 殿

立川市議会厚生委員会

委員長 山 本 洋 輔

行政視察報告

このことについて、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察月日

令和 7 年 3 月 21 日（金）

2 視察地及び視察事項

視察都市名	視 察 事 項
立川市	子育て支援・保健センター「はぐくるりん」

3 視察の概要及び所感

別紙のとおり

厚生委員会 視察報告書

【日 時】2025 年(令和 7 年)3 月 21 日 午後 3 時 30 分～午後 5 時

【視 察 先】子育て支援・保健センター「はぐくるりん」

(立川市錦町 3 丁目 3 - 6)

【参加委員】山本洋輔(委員長)、いしとびかおり(副委員長)、稲橋ゆみ子、大沢純一
頭山太郎、山本みちよ、若木早苗

◆視察内容

子育て支援・保健センター「はぐくるりん」の、建設工事および家具・什器の搬入を終え、施設運営に向けた最終準備段階におけるタイミングにおいて、厚生委員会(当時は厚生産業委員会)として事前に現地を視察し、施設の機能・配置・構造を実地で確認する機会を得た。

当日は、職員の方に終始同行してもらいながら、施設の各所を見学した。視察者からは各スペースの機能や運用方法、実際の利用を想定した課題などについて随時質問を行い、それに対して職員の方から丁寧な説明を受けたことで、施設の運営方針や利用者支援の実際について深く理解を深めることができた。

見学箇所は、相談・面談スペース、親子ひろば、多目的室、授乳・休養室、職員の執務スペースなど多岐にわたり、機能ごとに整理された空間が配置されていた。また、フロアごとにテーマカラーが設定されており、利用者にとっても視覚的にわかりやすく、安心して施設内を移動できる工夫がなされていることが確認された。

◆所感

「はぐくるりん」は、妊娠期から出産、育児までの切れ目ない支援を実現するための拠点として、非常に高い完成度を有する施設であると感じた。市民に対する利便性や安心感の確保はもちろんのこと、施設の設計には随所に工夫が施されており、地域に根差した子育て支援の中核的存在として期待したい。

特に印象的であったのは、職員の執務空間においてもフリーアドレスを導入するなど、柔軟な働き方を支える設計がなされていた点であり、今後の職員の働き方改革や業務の効率化にも資する先進的な取り組みとして注目に値する。

また、テーマカラーによる階層の識別や空間設計による導線の明確化など、利用者にとっても親しみやすく使いやすい空間が構築されており、行政施設としての役割を超えた市民に寄り添う姿勢が感じられた。こうした姿勢を、今後の施設整備や運営全般にも広げていくことが重要であると実感した。